

令和8年度 「論理国語」 年間学習指導計画

教科	国語	学年・コース	2 学年	単位数	4
		教科書	新編論理国語（大修館書店）		
科目	論理国語	副教材	パスワード級別漢字（浜島書店）		
教科の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動をとおして、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を養う。				
科目の目標	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

1 評価観点・学習目標

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることが十分にできている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度が十分に養われている。
B	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度が養われている。
C	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることが不十分である。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが不十分である。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度が不十分である。

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習活動 学習のねらい	備考	時数
前期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>論理的とはどういうことか理解する</li> <li>知の登山、知の水路</li> <li>「論理的な人」とはどういう人か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからの学習で取り組みたいことや、興味のあることについて考える。</li> <li>「論理」についての筆者の考えを読み取る。</li> </ul>	【読むこと】	12
	5				
	6				
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体と抽象について理解する</li> <li>ウサギの耳はなぜ長い？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章における具体と抽象の使い方を学ぶ。</li> </ul>	【読むこと】	6
8					
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>対比をとらえる</li> <li>対話の精神</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。</li> </ul>	【読むこと】	6	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>論理的に書く—小論文</li> <li>「考える葦」であり続ける</li> <li>根拠をふまえて主張を書こう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の主張と、それを支える根拠の役割を的確にとらえる。</li> <li>自説を支える根拠を明確に示しながら、小論文を書く。</li> </ul>	【書くこと】	11
後期	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>統計資料を活用する</li> <li>量の時代から質の時代へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な統計資料を本文と関連付けながら読む。</li> </ul>	【読むこと】	8
	11				
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>比べて読む</li> <li>紙の本はなくなる</li> <li>情報化と紙の本のゆくえ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。</li> </ul>	【読むこと】	14
	1				
	2				
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路活動に必要な書類の書き方を学ぶ</li> <li>志望先への提出書類</li> <li>志望理由書を書こう</li> <li>面接の回答を用意しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路で必要とされる書類についての概要を把握し、それらの書類の役割を学ぶ。</li> <li>必要な情報を集め、それらを適切に結び付けて、他者の印象に残る志望理由書を目指して書く。</li> <li>面接において、他者に対して、自分自身を工夫して表現できるよう、面接の回答を考案し、実践する。</li> </ul>	【書くこと】	13	

令和8年度 「日本史探究」 年間学習指導計画

教科	地理歴史	学年・コース	第2学年	単位数	3
		教科書	高校日本史（山川出版社）		
科目	日本史探究	副教材	高校日本史ノート（山川出版社） 詳説日本史図録（山川出版社）		
教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動をとおして、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 伝統と文化の特色、時期、年代、推移、比較、現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察し、解決を視野に入れて構想する力及び説明・議論する力を養う。				

1 評価観点・学習目標

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を身に付けている。
B	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、概ね理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、探究しようとする態度を身に付けている。
C	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、理解しようと努力している。	我が国の歴史の展開に関わる事象を構想したりする力を身に付けようとしている。	我が国の歴史について、探究しようとしている。

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習活動 学習のねらい	備考	時数
前期	4	ガイダンス 原始・古代の日本と東アジア ・国家と文化の形成 ・古代国家の確立 中世の日本と世界 ・中世社会の成立 ・中世社会の展開	・小テスト ・中間、期末テスト ・資料収集、資料読解 ・振り返りシート ・ワークシート ・グループワーク		53
	5				
	6				
	7				
	8				
後期	9	近世の日本と世界 ・統一政権の成立 ・幕藩体制の展開 近現代の地域・日本と世界 ・大日本帝国の形成 ・大日本帝国とデモクラシー ・アジアの戦争と第二次世界大戦 ・現代日本社会の形成と展開	・小テスト ・単元テスト ・資料収集、資料読解 ・振り返りシート ・ワークシート ・グループワーク		52
	10				
	11				
	12				
	1				
2					
3					

令和8年度 「公共」 年間学習指導計画

教科	公民	学年・コース	第2学年	単位数	2
		教科書	高等学校公共 これからの社会について考える (数研出版)		
科目	公共	副教材	4ステージ演習ノート公共 (数研出版)		
教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動をとおして、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	<p>自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動をとおして、以下の資質・能力を身に付けることを目指す。</p> <p>1 各人の意見や利害の調整の必要性や、人間の尊厳、平等、民主主義、法の支配など公共的な空間における基本的原理について理解する。</p> <p>2 基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。</p>				

1 評価観点・学習目標

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	人間の尊厳、平等、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解し、幸福、正義、公正などの概念的な枠組みを用いて、現代社会の諸課題の要因を多面的・多角的に理解している。	公共的な空間における基本的原理について、幸福、正義、公正などの概念的な枠組みや思考実験などを用いて、個人と社会との関わりに着目しながら、多面的・多角的に考察できる。	自立した主体として、よりよい公共的な空間を作り出していこうとすることに向けて、幸福、正義、公正などに着目し、探究的な学びを主体的に取り組んでいる。
B	人間の尊厳、平等、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理の意味を概ね理解し、幸福、正義、公正などの概念的な枠組みを用いて、現代社会の諸課題の要因を概ね理解している。	公共的な空間における基本的原理について、幸福、正義、公正などの概念的な枠組みを活用し、個人と社会との関わりに着目して、多面的・多角的に考察している。	自立した主体として、よりよい公共的な空間を作るために、幸福、正義、公正などの視点に着目して、探究的な学びに概ね取り組んでいる。
C	公共的な空間における基本的原理や幸福、正義、公正などの概念的な枠組みについての理解が不十分であったり断片的であったりし、現代社会の諸課題の要因を十分に捉えられていない。	公共的な空間における基本的原理について、個人と社会との関わりを考察しようとしている。	公共的な空間の形成や概念的な枠組みへの関心が低く、探究的な学びへの取り組みが不十分である。

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習活動 学習のねらい	備考	時数
前期	4	公共的な空間における人間としてのあり方生き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト</li> <li>単元テスト</li> <li>振り返りシート</li> <li>資料収集、資料読解</li> <li>グループワーク</li> </ul>	高校生議会は町議会と連携し、弾力的に行う。	35
	5	西洋近現代の思想			
	6	現代の諸課題と倫理			
	7	公共的な空間における基本原理			
	8	民主社会の基本原理			
後期	9	日本社会の基本原理	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト</li> <li>単元テスト</li> <li>振り返りシート</li> <li>資料収集、資料読解</li> <li>グループワーク</li> </ul>	高校生議会は町議会と連携し、弾力的に行う。	35
	10	高校生議会 町議会傍聴			
	11	政治に参加する私たち			
	12	政治参加と民主政治の課題			
	1	国際政治の動向			
	2	国際政治の課題と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト</li> <li>単元テスト</li> <li>振り返りシート</li> <li>資料収集、資料読解</li> <li>グループワーク</li> </ul>	高校生議会は町議会と連携し、弾力的に行う。	35
	3	経済活動を行う私たち			
	4	経済のしくみと産業の変化			
	5	市場経済のしくみと金融			
	6	高校生議会 町議会議員によるサポート授業 質問通告書の記載 町議会参加			

令和8年度 「数学Ⅱ」 年間学習指導計画

教科	数学	学年・コース	第2学年	単位数	2
		教科書	最新 数学Ⅱ (数研出版)		
科目	数学Ⅱ	副教材	パラレルノート 数学Ⅱ (数研出版)		
教科の目標	数学における基本的な概念や原理・法則を理解し、事柄に対して筋道を立てて考えることができる。 また、課題や各種テストをとおして、基礎・基本が定着している。				
科目の目標	単元における基本的な概念や原理・法則を理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的な処理をしたりすることができる。 事象の構成や性質に着目し、数学的に考察・表現することができる。 課題解決に数学的な見方・考え方・解釈の活用やその過程の振り返りをしようとしている。				

1 評価観点・学習目標

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	各単元の基本的な概念や原理・法則を既習の知識と関連付けて理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的な処理をしたりすることができる。	事象の構成要素やその関係に着目し、数学的な表現を基に考察し証明したり、特徴を発見したりすることができる。	数学を活用することのよさを認識し、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、問題解決の過程を振り返って評価や改善したりしようとしている。
B	各単元の基本的な概念や原理・法則を理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的な表現・処理をしたりすることができる。	事象の構成要素やその関係に着目し、数学的な表現を基に考察することができる。	粘り強く考え数学的論拠に基づいた判断や、問題解決の過程を振り返って評価や改善をしようとしている。
C	各単元の基本的な概念や原理・法則を理解することができる。	数学的な表現を基に考察することができる。	課題に粘り強く考え問題解決の過程の振り返りをしようとしている。

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習活動 学習のねらい	備考	時数
前期	4	第1章 式と証明	・各種テスト ・演習 ・ワークシート ・グループワーク ・振り返り		35
	5	第1節 式と計算			
	6	第2節 等式・不等式の証明			
	7	第2章 複素数と方程式			
	8	第1節 複素数と2次方程式の解			
後期	9	第2節 高次方程式	・各種テスト ・演習 ・ワークシート ・グループワーク ・振り返り		35
	10	第3章 図形と方程式			
	11	第1節 点と直線			
	12	第2節 円			
	1	第3節 軌跡と領域			

令和8年度 「数学B」 年間学習指導計画

教科	数学	学年・コース	第2学年 αコース	単位数	2
		教科書	新編 数学B (数研出版)		
科目	数学B	副教材	新課程 Study-Up ノート数学B (数研出版)		
教科の目標	数学における基本的な概念や原理・法則を理解し、事柄に対して筋道を立てて考えることできる。 また、課題や各種テストをとおして、基礎・基本が定着している。				
科目の目標	各単元の内容についての基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりすることができる。 事象を数学的に表現し考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って考察したりすることができる。 粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断したり、問題解決の過程を振り返って評価や改善をしたりしようとしている。				

1 評価観点・学習目標

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	各単元の内容についての基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりすることが十分にできている。	事象を数学的に表現し考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って考察したりすることが十分にできている。	粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断し、問題解決の過程を振り返って評価や改善することが十分にできている。
B	各単元の内容についての基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりすることが概ねできている。	事象を数学的に表現し考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って考察したりすることが概ねできている。	粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断し、問題解決の過程を振り返って評価や改善することが概ねできている。
C	各単元の内容についての基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりすることが十分でない。	事象を数学的に表現し考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って考察したりすることが十分でない。	粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断し、問題解決の過程を振り返って評価や改善することが十分でない。

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習活動 学習のねらい	備考	時数
前期	4	第1章 数列	【学習活動】 ・演習 ・グループワーク ・問題集 ・振り返り 等		35
	5				
	6				
	7				
	8				
後期	9	第2章 統計的な推測	【学習活動】 ・演習 ・グループワーク ・問題集 ・振り返り 等		35
	10				
	11				
	12				
	1				
2					
3					

令和8年度 「数学C」 年間学習指導計画

教科	数学	学年・コース	第2学年 αコース	単位数	1
		教科書	新編 数学C (数研出版)		
科目	数学C	副教材	新課程 Study-Up ノート数学C (数研出版)		
教科の目標	数学における基本的な概念や原理・法則を理解し、事柄に対して筋道を立てて考えることができる。 また、課題や各種テストをとおして、基礎・基本が定着している。				
科目の目標	各単元の内容についての基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりすることができる。 大きさと向きをもった量に着目し、演算方法やその図形的な意味を考察することができる。 粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断したり、問題解決の過程を振り返って評価や改善をしたりしようとしている。				

1 評価観点・学習目標

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	各単元の内容についての基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりすることが十分にできている。	大きさと向きをもった量に着目し、演算方法やその図形的な意味を考察することが十分にできている。	粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断し、問題解決の過程を振り返って評価や改善することが十分にできている。
B	各単元の内容についての基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりすることが概ねできている。	大きさと向きをもった量に着目し、演算方法やその図形的な意味を考察することが概ねできている。	粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断し、問題解決の過程を振り返って評価や改善することが概ねできている。
C	各単元の内容についての基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりすることが十分でない。	大きさと向きをもった量に着目し、演算方法やその図形的な意味を考察することが十分でない。	粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断し、問題解決の過程を振り返って評価や改善することが十分でない。

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習活動 学習のねらい	備考	時数
前期	4	第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形	【学習活動】 ・演習 ・グループワーク ・問題集 ・振り返り 等		18
	5				
	6				
	7				
	8				
後期	9	第1章 平面上のベクトル 第2節 ベクトルと平面図形 第2章 空間のベクトル	【学習活動】 ・演習 ・グループワーク ・問題集 ・振り返り 等		17
	10				
	11				
	12				
	1				
	2				
	3				

令和8年度 「生物基礎」 年間学習指導計画

教科	理科	学年・コース	第2学年	単位数	2
		教科書	高等学校 生物基礎 改訂版 (啓林館)		
科目	生物基礎	副教材	サンダイヤル 生物基礎の基本マスター 四訂版 (啓林館)		
教科の目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどをおし、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどをおし、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。				

1 評価観点・学習目標

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	日常生活や社会との関連を踏まえた生物や生物現象についての理解及び科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を十分に身に付けている。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力と、実験データから考察を導き出し、文章やグラフ、表などで表現する力が十分に身に付いている。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境保全に寄与する態度を十分に身に付けている。
B	日常生活や社会との関連を踏まえた生物や生物現象についての理解及び科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力と、実験データから考察を導き出し、文章やグラフ、表などで表現する力が身に付いている。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境保全に寄与する態度を身に付けている。
C	日常生活や社会との関連を踏まえた生物や生物現象についての理解及び、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が不十分である。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力と、実験データから考察を導き出し、文章やグラフ、表などで表現する力が不十分である。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境保全に寄与する態度が不十分である。

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習活動 学習のねらい	備考	時数
前期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の共通性と多様性</li> <li>生物とエネルギー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の定義について理解する。</li> <li>生命活動とエネルギーの関係性について理解する。</li> </ul>		35
	5				
	6				
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝情報とDNA</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝子、DNA、染色体の関係について理解する。</li> <li>玉ねぎを用いて細胞分裂の観察実験を行い、細胞分裂の周期について理解を深める。</li> </ul>		
	8				
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝情報とたんぱく質の合成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DNAの転写、翻訳の流れを理解する。</li> </ul>			
後期	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の伝達</li> <li>体内環境の維持の仕組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>恒常性と体液について理解する。</li> <li>自律神経系と内分泌系について理解する。</li> </ul>		35
	11				
	12				
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>免疫の働き</li> <li>植生と遷移</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>免疫の仕組みについて理解する。</li> <li>植生や遷移、バイオームについて理解する。</li> </ul>		
	2				
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態系と生物の多様性</li> <li>生態系のバランスと保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態系の構成について理解する。</li> <li>食物連鎖について理解する。</li> </ul>		

令和8年度 「体育」 年間学習指導計画

教科	保健体育	学年・コース	第2学年	単位数	2
		教科書	なし		
科目	体育	副教材	なし		
教科の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程をとおして、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。				

1 評価観点と学習目標

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	その種目の運動技能が十分に身についている。振り返りシートにおいて習得した知識を的確に技能の習得と関連させて知識を深めた記載があり活用できる。	課題解決に向けて、合理的な動きと比較したり、分析し、成果や良い点、修正点などを十分に指摘したりしている。振り返りシートにおいては課題解決に向けて工夫した内容が十分に記載されている。	自分から公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全について意識した活動を行う姿が見られ、振り返りシートにも十分に記載されている。
B	その種目の運動技能が身に付いている。振り返りシートにおいて習得した知識を的確に技能に関連させた記載がある。	課題解決に向けて成果や良い点、修正点などを指摘している。振り返りシートにおいては課題解決に向けて工夫した点が記載されている。	公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全について意識した活動を行う姿が見られ、振り返りシートに記載されている。
C	その種目の運動技能が不十分である。振り返りシートにおいて習得した知識を的確に技能に関連させた記載が不十分である。	課題解決に向けた指摘が不十分である。振り返りシートにおいては課題解決に向けた工夫の記載が不十分である。	公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全について意識した活動、振り返りシートの記載が不十分である。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習活動 学習のねらい	備考	時数
前期	4	・ガイダンス	・授業を受けるに当たってシラバスをもとに確認		35
	5				
	6	・体づくり運動	・リラクゼーション、ストレッチング、集団行動、基礎トレーニング、体力テスト実施		
	7				
	8				
9	・バスケットボール	・パス、ドリブル、シュートなどの基礎技術、ドリル練習、攻守、スキルテスト、空間を作り出す動きの練習、簡易ゲーム（ハーフコート）、ゲーム（オールコート）ルールと審判法			
		・陸上競技	・リレー、バトンパス練習		
		・生涯スポーツ	・レクリエーションスポーツ、ニュースポーツ、パラスポーツ、企画と運営		
		・体育大会に向けて	・練習計画、課題分析		
後期	10	・フットサル	・リフティング、ボールコントロール、パス、キック、ドリブル、ヘディング、シュートなどの基礎技術、ドリル練習、攻守、空間を作り出す動きの練習、スキルテスト、ゲーム、ルールと審判法		35
	11				
	12				
	1	・カーリング	・ショット、スウィーピング、攻守、ゲーム、ルールと審判法		
	2				
	3	・器械運動	・回転系、巧技系の基本的な技の習得、条件を変えた技や発展技の習得、複数の技を構成し演技する		
		・バレーボール	・パス、レシーブ、トス、サービス、スパイクなどの基礎技術、ゲーム、ルールと審判法		
		・スキー	・ブルーク、シュテム、パラレルターン大回り、小回りの練習、総合滑走		
		・体育理論	・II単元 運動・スポーツの学び方		

令和8年度 「保健」 年間学習指導計画

教科	保健体育	学年・コース	第2学年	単位数	1
		教科書	現代高等保健体育（大修館書店）		
科目	保健	副教材	現代高等保健体育ノート（大修館書店）		
教科の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程をとおして、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程をとおして、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。				

1 評価観点・学習目標

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ知識と技能を基礎から応用まで身に付けている。	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けており、自己の考えを表現することができる。	個人生活や社会生活における健康・安全について関心を持ち、意欲的に活動に参加しており、課題解決に向けた一連の活動を振り返り、改善しようとしている。
B	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ知識と技能を身に付けている。	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して思考を深め、自己の考えを概ね表現できている。	個人生活や社会生活における健康・安全について関心を持ち、課題解決に向けた一連の活動を振り返り、改善しようとしている。
C	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ知識と技能が不十分である。	個人生活や社会生活における健康・安全について、自己の考えを表現することが不十分である。	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題解決に向けた一連の活動の振り返りと改善が不十分である。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習活動 学習のねらい	備考	時数
前期	4 5 6 7 8 9	ガイダンス (生涯を通じる健康) ・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康 ・中高年期と健康 ・働くことと健康 ・健康的な職業生活 ・前期期末考査	・授業を受けるに当たってシラバスをもとに確認 ・グループワーク (課題探究型学習、ブレインストーミングなど) ・ロールプレイング ・ワークシート ・問題集 ・説明 ・発表 (生涯を通じる健康について理解を深めること。生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それら表現すること。)		18
後期	10 11 12 1 2 3	(健康を支える環境づくり) ・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康 ・環境と健康にかかわる対策 ・ごみの処理と上下水道の整備 ・食品の安全性 ・食品衛生にかかわる活動 ・保健サービスとその活用 ・医療サービスとその活用 ・医薬品の制度とその活用 ・さまざまな保健活動や社会的対策 ・健康に関する環境づくりと社会参加 ・心肺蘇生法実習 ・学年末考査 ・まとめ	・グループワーク (課題探究型学習、ブレインストーミングなど) ・ロールプレイング ・ワークシート ・問題集 ・説明 ・発表 (健康を支える環境づくりについて理解を深めること。健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それら表現すること。)		17

令和8年度 「英語コミュニケーションⅡ」 年間学習指導計画

教科	外国語	学年・コース	第2学年	単位数	4
		教科書	COMET English Communication II (数研出版)		
科目	英語コミュニケーションⅡ	副教材	・COMET II ベーシックノート (数研出版) ・Listening Box 1 (啓林館) ・Willing NEW 基本の英語 3rd Edition (啓林館 ※継続使用) ・英単語ターゲット 1200 (旺文社 ※継続使用)		
教科の目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動をとおして、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。				
科目の目標	日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用しながら5領域を実現させる。 【聞くこと】 話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握し、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようになる。 【読むこと】 使用される語句や文、情報量などにおいて、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようになる。 【話すこと [やり取り]】 使用する語句や文、対話の展開などにおいて、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けたり、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができるようになる。 【話すこと [発表]】 使用する語句や文、事前の準備などにおいて、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようになる。 【書くこと】 使用する語句や文、事前の準備などにおいて、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようになる。				

1 評価観点・学習目標

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	外国語の音声や語彙、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、4技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
B	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの基礎を理解し、これらの知識を、4技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などで活用できる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
C	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの基礎を理解し、これらの知識を4技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などで活用しようとしている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを理解しようとしたり、これらを活用して表現したり伝え合おうとしている。	外国語の背景にある文化に対する理解しようとしている。 外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

2 学習計画

学期	月	単元	学習内容	備考	時数
前期	4	Lesson 01	ダイキとエラが互いに訪れた場所についてメールで紹介する	What など+ (人) + to-不定詞	90
	5	Places Worth Visiting			
	6	Willing	不定詞	不定詞	
	7	Lesson 02			
	8	Iwago Mitsuaki: Animal Photographer	動物写真家 岩合光昭さんが、撮影において重要だと気づいたことや撮影のコツを語る	疑問詞+ to-不定詞	
	9	Willing	動名詞	動名詞	
		Lesson 03			
		The Haka	ニュージーランドからの留学生マイアが、マオリ族の伝統舞踊「ハカ」について発表する	分詞	
		Willing	分詞	分詞	
		Lesson 04			
		Digital Detox	ハルカとダイキがデジタル機器との関わり方に関する記事を読み、意見を交換する	if 節・疑問詞節	
		Willing	分詞構文	分詞構文	
	Lesson 05				
	Goal Setting	目標を達成するために効果的な目標設定のしかたを紹介	seem + to-不定詞		
	Willing	比較	原級・比較級・最上級		
	Lesson 06				
	The High School Hair Salon	高校生が運営する美容室で働く生徒たちへのインタビュー	助動詞+ have + 過去分詞		

後期	10	Willing	関係詞・関係代名詞	比較・関係詞	50
	11	Lesson 07 You Can Make a Difference	バリ島に住むメラティとイザベルの姉妹によるレジ袋撤廃運動	過去完了形(経験・完了・継続・大過去)	
	12	Willing	関係代名詞・関係副詞	関係詞	
	1	Lesson 08 Nudge	命令や強制ではなく、小さな工夫で人の行動に影響を与える「ナッジ」の活用例を紹介	関係代名詞 what	
	2	Willing	仮定法	仮定法	
	3	Lesson 09 The Father of Braille Blocks	世界中で使われる点字ブロックの開発者、三宅精一氏	関係副詞(where / when)	
		Listening Box 1 Lesson1~4	イラスト選択問題	弱く発音される語・つながる音・カタカナ語・日本人が苦手な音	
		Lesson 10 Do We Need That?	海外の人から見ると奇妙にも見える日本のサービスについて、留学生が議論する	使役動詞(make / let / have )	
		Listening Box 1 Lesson5~8	旅行計画、天気予報、電話メモ等の短い会話文の聞き取り	変化する音・消える音①・be going to の発音・「チ」の響きがある tr	
		Lesson 11 The Vancouver Asahi	太平洋戦争以前のカナダで活躍した日系カナダ人の野球チーム、バンクーバー朝日の実話	知覚動詞+0+動詞の原形/ ing 形	
		Listening Box 1 Lesson9~12	道案内、買い物等、場所に応じた聞き取りテスト	強弱のパターン・通りの名前・値段・数字・消える音②	
		Lesson 12 From Small Companies to the World	小さな会社を作る、世界に求められる製品を紹介	仮定法過去・仮定法過去完了	
		Listening Box 1 Lesson12~16	レストラン、アナウンス等の日常で使われる会話表現や情報の聞き取り	選択疑問文・「t」、「l」の発音	
		Reading Malala Yousafzai	テロリストの銃弾にも屈せず教育の大切さを訴え続けるマララ・ユスフザイの物語		
	Listening Box 1 Lesson 16~20	スピーチやインタビュー等における長い情報の聞き取り	固有名詞、強勢、リズム等		

教科 科目 単位数	外国語 論理・表現 I 2	受信校	北海道豊富高等学校	学科 学年(年次) 履修・実施	普通科 第二学年 選択・一斉
教科書 副教材	「MY WAY Logic and Expression I New Edition」(三省堂) 「MY WAY Logic and Expression I New Edition ワークブック」(三省堂)				

### 1 目標

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
  - (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
  - (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- (高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)より)

### 2 学習のポイント

- (1) オリエンテーション時に示す「授業のルール」を守り、積極的に言語活動に取り組んでください。
- (2) ワークシート等を多く配布します。配布物を整理するために、ファイル(A4サイズ)を必ず用意してください。
- (3) この科目では、主に「話すこと」、「書くこと」に関わる学習を行います。ペアやグループの活動では、自分の意見を積極的に述べるなど、恥ずかしがることなくコミュニケーションを図る努力をしてください。
- (4) 特に「話すこと」については、テーマに応じて即興で話す活動だけでなく、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッションといった論理性を要する言語活動が多くなります。知識や表現の能力だけでなく、取り組みへの積極性も評価されますので、恥ずかしがらずにコミュニケーションを図る努力をしてください。

### 3 学習の評価

(1) 評価の観点とその趣旨

次の3つの観点に基づいて内容や時間のまとまりごとに「A・B・C」の3段階で評価を行い、学年末に5段階評定へと総括します。

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

(2) 評価方法と観点との関連(◎=特に関連の深いもの)

評価方法\観点	①	②	③	主な対象
ア 学習活動の観察・振り返り	○	○	◎	言語活動への取り組み・振り返りシート等
イ ワークシート・テスト等	◎	◎	○	課題提出、小テスト、単元テスト等
ウ パフォーマンステスト等	◎	◎	○	パフォーマンステスト
総括時の比率	1	1	1	

### 4 その他

<遠隔授業について>

- (1) 授業者は対面授業時を除き、基本的に配信校から授業をします。授業中の質問や疑問等については随時対応しますが、申し出にくい場合などについては、教室にいる受信担当の先生に申し出ても構いません。
- (2) 授業者が現地にいない分、皆さんの積極的な活動がより一層重要になります。メリハリをもって活動したり、わからないところを互いに教え合ったりすることは特に重要です。ぜひ、一緒に授業を「作っていく」つもりで参加してください。
- (3) 遠隔授業のため、音声の遅れや乱れが予想されます。これらの不都合を常に意識して柔軟に対応してください。
- (4) 遠隔授業では、Google Classroomなどのクラウドサービスを活用します。利用におけるルールを遵守してください。

(5) その他の遠隔授業の特性についてはオリエンテーション時に説明します。

<学習の支援について>

授業について、不安なことや気になること、配慮して欲しいことなどがあれば、可能な範囲で個別対応します。直接相談しにくい場合は、Classroom やワークシートに書いてもらっても構いません。

### 5 年間授業計画 (計 70 時間)

月	○題材 ●主な教材	配当 (時)	【学習領域】 ・主な学習内容 □対面授業 ◇テスト等	目標・ねらい	観点ごとの 主な評価の対象 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
4 / 5 / 6	○オリエンテーション	1	・論理・表現 I の学習について	・アンケートへの回答を通し、これまでの英語の学習を振り返り、論理・表現 I の学習についての見直しをもつ。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価(振り返りシートなどの記述内容)
	○自己紹介をしてみよう ●Lesson 1	6	【やり取り/発表】 ・現在形 (be 動詞/一般動詞)	・初対面のあいさつをすることができる。 ・自己紹介のスピーチをすることができる。	
	○学校のことを伝え合おう ●Lesson 2	6	【やり取り/書く】 ・過去形 (be 動詞/一般動詞) ・現在進行形/過去進行形  <u>□対面授業①</u> <u>◇パフォーマンステスト</u>	・好きだった教科について会話をすることができる。 ・部活動を紹介する記事の原稿を書くことができる。	
	○アートのおもしろさを伝えよう ●Lesson 3	6	【やり取り/発表】 ・未来表現 ・基本時制 (現在形/過去形/未来表現) のまとめ	・週末の予定について会話をすることができる。 ・好きな絵について発表することができる。	
		1	<u>単元テスト</u>	・学習内容の定着状況を確認する。	
7 / 8 / 9	○料理や食文化について学ぼう ●Lesson 4	7	【やり取り/書く】 ・現在完了形① (完了/経験) ・現在完了形② (継続)/現在完了進行形	・料理をするときの会話をすることができる。 ・日本の食文化を紹介するレポートを書くことができる。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価(振り返りシートなどの記述内容)
	○町の魅力を伝えよう ●Lesson 5	6	【やり取り/発表】 ・助動詞 (can/may/must/have to/should) ・受動態	・道案内の会話をすることができる。 ・地域の特徴やマスコットキャラクターについて発表することができる。	
		1	<u>単元テスト</u>	・学習内容の定着状況を確認する。	
10 / 11	○旅先で使う英語を学ぼう ●Lesson 6	6	【やり取り/書く】 ・不定詞① (名詞的用法/形容詞的用法) ・不定詞② (副詞的用法/原形不定詞)	・買い物の会話をすることができる。 ・旅行先から友達へメッセージを送ることができる。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果

令和8年度 遠隔授業配信シラバス

	○スポーツの魅力を伝えよう ●Lesson 7	6	【やり取り・発表】 ・動名詞 ・分詞による後置修飾/分詞構文	・スポーツの試合について会話をすることができる。 ・車いす競技を紹介する発表をすることができる。	③自己評価（振り返りシートなどの記述内容）
	○未来の技術を想像しよう ●Lesson 8	6	【やり取り・書く】 ・比較①（比較級） ・比較②（最上級/同等比較）  □ <u>対面授業②</u> ◇ <u>パフォーマンステスト</u>	・最新の製品について会話をすることができる。 ・AIを使った未来の技術を紹介する記事の原稿を書くことができる。	
		1	<u>単元テスト</u>	・学習内容の定着状況を確認する。	
12 / 1 / 2	○健康の表現を身につけよう ●Lesson 9	7	【やり取り・発表】 ・関係代名詞①（ who/which/that 【主格・目的格】） ・関係代名詞②（ 目的格の省略 /whose/what）	・病院での会話をすることができる。 ・健康について発表をすることができる。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価（振り返りシートなどの記述内容）
	○科学で実現できる夢を語り合おう ●Lesson 10	7	【やり取り/発表】 ・関係副詞 ・仮定法	・先端科学技術について会話をすることができる。 ・先端科学技術を紹介する発表をすることができる。	
		1	<u>単元テスト</u>	・学習内容の定着状況を確認する。	
3	○友だちに感謝のメッセージを送ろう。	2	【書く】	・1年間を振り返って友だちに感謝のメッセージを伝えることができる。	

令和8年度 「ビジネス基礎」 年間学習指導計画

教科	商業	学年・コース	第2学年 βコース	単位数	2
		教科書	ビジネス基礎 (実教出版)		
科目	ビジネス基礎	副教材	ビジネス基礎 準拠問題集 (実教出版) 令和8年度版電卓計算能力検定 過去問題集3級 (全経協会) 令和8年度版電卓計算能力検定 過去問題集3級 伝票問題 (全経協会)		
教科の目標	商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスに対する望ましい心構えや理念を身に付けさせるとともに、ビジネスの諸活動を主体的・合理的に行い、経済社会の発展に寄与する能力と態度を育てる。				
科目の目標	ビジネスに関する全体的な内容に触れることから、礼儀・挨拶・言葉遣いなど、基本的なことについて気を付けて授業を受ける。 また、電卓計算能力検定3級 (全国経理教育協会) 取得に取り組む。				

1 評価観点・学習目標

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	ビジネスの諸活動、問題に興味・関心を持ち、その向上・改善に主体的に取り組む態度を持っている。	ビジネスの諸問題の解決に思考を深め、その考えを基礎的・基本的な知識を基に適切に判断、表現することができる。	商業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動に対し合理的に適切に技術を活用する。また、商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、ビジネスの意義や役割を理解しようとしている。
B	ビジネスの諸活動、問題に興味関心を持ち、その向上・改善に取り組む態度を持っている。	ビジネスの諸問題の解決に思考を深め、その考えを適切に判断、表現することができる。	商業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動に対し合理的に適切に技術を活用しようとしている。
C	ビジネスの諸活動、問題に興味関心を持ち、その向上・改善に取り組む態度が不十分である。	ビジネスの諸問題の解決に思考を深め、その考えを適切に判断、表現することが不十分である。	商業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動に対し合理的に適切に技術を活用することが不十分である。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習活動	備考	時数
前期	4 5 6 7 8 9	商業の学習ガイダンス 経済と流通の基礎 1 経済のしくみとビジネス 2 社会の変化とビジネスの発展 3 経済活動と流通 ビジネスの担い手 1 もの生産者 2 サービスの生産者 3 小売業 4 卸売業 5 物流業 6 金融業 7 情報通信業  ・電卓計算能力検定3級問題の演習 ・コミュニケーションの役割	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		35
	10 11 12 1 2 3	・電卓計算能力検定問題3級の演習 ・電卓計算能力検定問題2級の演習	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		
後期					35

令和8年度 「簿記」 年間学習指導計画

教科	商業	学年・コース	第2学年 βコース	単位数	3
		教科書	高校簿記(実教出版)		
科目	簿記	副教材	最新段階式 簿記検定問題集 全商3級(実教出版) 令和8年度版 全経簿記能力検定 過去問題集3級(全経協会)		
教科の目標	商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスに対する望ましい心構えや理念を身に付けさせるとともに、ビジネスの諸活動を主体的・合理的に行い、経済社会の発展に寄与する能力と態度を育てる。				
科目の目標	教科書と問題集を使用して、板書等での説明を行う。説明後は問題集を使用して演習に取り組む。必要に応じてプリントにも取り組む。 また、簿記能力検定3級(全経協会)取得に取り組む。				

1 評価観点・学習目標

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	授業に積極的に参加し、課題に対して主体的に取り組み、簿記の取引に関心を持ち、知識技能を習得しようとする態度を養っている。	簿記の取引に対して自ら思考を深め、知識と技能を活用して適切に判断、表現し、処理する能力を身に付けている。	簿記の基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、簿記の一巡の手続きと手順を理解できているか。また、ビジネスの諸活動を計数的に把握することができるか。簿記の基礎的・基本的な知識と技術を身に付けようとしている。
B	授業に積極的にも参加し、課題に取り組む、簿記の取引に関心を持ち、知識技能を習得しようとする態度を養っている。	簿記の取引に対して、知識と技能を活用して適切に判断、表現し、処理する能力を身に付けている。	簿記の基礎的・基本的な知識と技術を身に付けている。また、ビジネスの諸活動を計数的に把握することができるか。簿記の基礎的・基本的な知識と技術を身に付けようとしている。
C	授業に積極的参加が不十分である。課題の取り組みが不十分である。簿記の取引に関心を持ち、知識技能を習得しようとする態度が不十分である。	簿記の取引に対して、知識と技能を活用し、判断、表現し、処理する能力が不十分である。	簿記の基礎的・基本的な知識と技術が不十分である。

2 学習計画

学期	月	単元名	学習活動	備考	時数
前期	4 5 6 7 8 9	簿記の意味・目的・種類・歴史 資産・負債・純資産 貸借対照表 純損益・収益・費用 損益計算書 取引・勘定 仕訳・転記 取引の記帳 試算表の意味・作成 精算表の意味・作成 決算の意味・手続き・報告 現預金・各種出納帳等 3分法・各種売買補助簿 売掛金・買掛金・貸し倒れ等 約束手形・為替手形・記入帳 有価証券の取得と売却 ※小規模株式会社のしくみ	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどとおして、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力の育成を目指す。		51
後期	10 11 12 1 2 3	様々な債権債務の取引 種類・取得・売却 元入れ・引出 販売費・一般管理費 個人企業の税金・消費税 貸し倒れ・減価償却 精算表の作成 決算・財務諸表の作成 役割・種類・形式 伝票の作成 問題演習 特殊仕訳帳 費用・収益の繰延と見越し 有価証券の評価・減価償却	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどとおして、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力の育成を目指す。		54

令和8年度 「保育基礎」 年間学習指導計画

教科	家庭	学年・コース	第2学年	単位数	2
		教科書	保育基礎（実教出版）		
科目	保育基礎	副教材	なし		
教科の目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動をとおして、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力の育成を目指す。				
科目の目標	(1) 保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解をし、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 子どもの健やかな発達を目指して学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				

1 評価観点・学習目標

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	Bに加えて、保育に関する基礎的・基本的な知識と技術を基礎から応用まで身に付けている。	Bに加えて、課題の解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造することができる。	Bに加えて、意欲的に学習に取り組もうとしており、他者と協働しながら課題解決に向けて取り組み、改善につなげようとしている。
B	子どもの発達の特徴、生活と保育における個々の課題から場面別に課題を解決していく知識と技能を身に付けている。	子どもの発達や保育に関わる現状について、理解を深めた上で課題を発見し、その解決のために、根拠に基づき論理的に表現することができる。	子どもの発達や保育への関心を持ち、学習に取り組もうとしている。 子どもの健やかな発達や保育について、課題解決に向けて、学習活動を振り返って改善しようとしている。
C	子どもの発達の特徴、生活と保育における個々の課題から場面別に課題を解決していく知識と技能を十分に身に付けていない。	子どもの発達や保育にかかわる現状について理解が深まっておらず、課題に対する自己の考えが論理的に表現できていない。	子どもの発達や保育への関心が薄く、子どもとの関わりや課題に対して取り組もうとしていない。 課題解決に向けた学習活動の振り返りが乏しい。

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習活動 学習のねらい	備考	時数
前期	4	1章 子どもの保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が将来どのような形で子どもに関わりたいかを考える。</li> <li>保育には、子どもの生涯の人格形成の基礎を担う重要な意義があることを理解する。</li> <li>発達過程の特徴と、段階に応じた保育の方法を理解する。</li> <li>家庭及び幼稚園、保育所や認定こども園について、それぞれの養育・保育環境の特徴や役割を理解する。</li> <li>子どもが主体的に環境に働きかけ、発達していくために、保育者などが応答的に関わるのが大切であることを理解する。</li> <li>発達の段階に応じた適切な養護の方法を知る。</li> <li>子どもの発達の個人差に配慮しながら、心身の発達を促すために保育者としてどのように接するとよいか考える。</li> <li>子どもの文化とそれを支える場が、子どもの健康で豊かな生活のために果たす役割や意義を理解する。</li> </ul>	①中間検査無 ②期末検査有 ③はさみやのり、色鉛筆などがあるとよい。(必要な時期になったら指示する。)	35
	5	1 保育の意義			
	6				
	7				
	8	2 保育の方法			
	9	3 保育の環境			
		2章 子どもの発達 子どもの発達の特徴			
		保育実習			
		第3章 子どもの生活 1 子どもの生活と養護			
		第4章 子どもの文化 1 子どもの文化の意義と支える場			

後期	10	第4章 子どもの文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの遊びの重要性を理解し、表現活動における保育者の適切な関わり方を身に付ける。</li> <li>・社会の変化が子どもの遊びに影響を与えていることを踏まえて、どのような課題があるのかを考える。</li> <li>・大人と比較し、乳幼児期の発育の特性を理解する。</li> <li>・乳幼児期の生理的特徴について理解する。</li> <li>・乳幼児期における感覚・運動機能、情緒、認知機能、言語、社会性の発達の特性について理解する。</li> <li>・基本的生活習慣と社会的な生活習慣の違いを理解し、その具体的な内容について知る。</li> <li>・子どもを安全に養護するための、病気・けがや事故の原因とその対処法について、知識と技術を身に付ける。</li> <li>・子ども観の変遷から子どもの権利について理解する。</li> <li>・子どもの権利が侵されている状態について考え、権利を保障する法制度と各種施設について知る。</li> <li>・現代の子どもと子育て家庭を取り巻く問題や、保育のニーズに関する課題を知り、子どもの健やかな発達と親の心身を支えるための適切な保育環境について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①中間考査無</li> <li>②期末考査有</li> <li>③はさみやのり、色鉛筆などがあるとよい。(必要な時期になったら指示する。)</li> </ul>	35
	11	2 子どもの遊びと表現活動			
	12				
	1	第2章 子どもの発達			
	2	2 子どものからだの発達			
	3	3 子どもの心の発達			
		第3章 子どもの生活			
		2 生活習慣の形成			
		3 健康管理と事故防止			
		第5章 子どもの福祉			
	1 子ども観				
	2 子どもの福祉				
	3 子育て支援				